

2010 年度報告書（研究員）

氏 名	中山大将
職 位	GCOE 研究員（短時間）
<p>研究概要</p> <p>採用時のテーマ：サハリン残留および帰国日本人・韓国人コミュニティにとっての公共圏の再編成と親密圏の変容の比較研究</p> <p>1) 次世代ユニット</p> <p>次世代ユニット研究「ポスト冷戦期アジア社会主義圏の女性人口移動」を通じて、本テーマの深化を試みる計画であったが、予算削減のため独自の調査研究を行うための研究費が得られなかった。このため、下記の各研究プロジェクトとの関連のなかで研究を進めた。その成果は、WP にまとめる予定である。</p> <p>調査上の大きな進展としては、サハリン残留日本人帰国者の支援団体である「NPO 法人日本サハリン同胞交流協会」の協力を得て、サハリン残留日本人の名簿の整理に着手できたことである。来年度は、この資料を基にして研究に新たな進展が得られると期待している。</p> <p>①蘭信三（上智大学・教授）「日本帝国崩壊後の人口移動と社会統合に関する国際社会学的研究」（2008－2011 年度）科学研究費補助金（基盤研究（B））、②今西一（小樽商科大学・教授）「19～20 世紀北東アジア史のなかのサハリン・樺太」科学研究費補助金（基盤研究（B））（2009－2012 年）、③中山大将（京都大学・博士後期課程）「戦後開拓の経験からの「農」の再考」トヨタ財団 2009 年度研究助成プログラム（2009 年 11 月－2010 年 10 月）、④野田公夫（京都大学・教授）「農林資源問題と農林資源管理主体の比較史的研究—国家・地域社会・個人の相互関係—」科学研究費補助金（基盤研究 B（一般））（2010－2012 年度）、⑤「国際共同研究集団研修（中国社会研究短期集中プログラム）」日本学術振興会「組織的な若手研究員等海外派遣プログラム（大航海プログラム）」「京都エラスムス計画：持続的社會発展に向けた次世代アジア共同研究リーダー育成」（2010 年度）、⑥中山大将（京都大学・研究員）「日本帝国崩壊後の樺太植民地社会の変容解体過程の研究」科学研究費補助金（研究活動スタート支援）（2010 年 11 月－2012 年 3 月）。</p> <p>2) 京都エラスムス計画（南京大学）</p> <p>京都エラスムス計画により、南京大学へ約 2 ヶ月間派遣され、院生らと中国農村の共同調査を行い、その調査報告書を共同執筆した（業績リスト④）。</p>	
<p>業績リスト（著書、論文、報告、その他に分けて主要なものを記入する）</p> <p><学会誌論文（有査読）></p> <p>①「樺太庁中央試験所の技術と思想—1930 年代樺太拓殖における帝国の科学」『農業史研究』第 45 号、2011 年 3 月、53-64 頁。</p> <p>②“<i>Agriculture and Rural Community in a Social and Familial Crisis: The Case of Abandoned Rural Community and Invisible People in the Postwar Settlement in Shin-Nopporo, Japan,</i>” <i>Asian Rural Sociology</i>, IV-2, Sep 2010, pp531-544.</p> <p><研究プロジェクト報告書></p> <p>③「帝国崩壊による樺太・サハリンをめぐる人口移動の形態および移動後の社会と経験」蘭信三編『日本帝国崩壊後の人口移動と社会統合に関する国際社会学的研究』科研中間報告書（蘭信三「日本帝国崩壊後の人口移動と社会統合に関する国際社会学的研究」）、2010 年 9 月 1 日、85-111 頁。</p> <p>④“<i>Migration from and to Karafuto/Sakhalin Island evoked by the collapse of the Japanese empire</i>”蘭信三編『日本帝国崩壊後の人口移動と社会統合に関する国際社会学的研究』科研中間報告書（蘭信三「日本帝国崩壊後の人口移動と社会統合に関する国際社会学的研究」）、2010 年 9 月 1 日、217-230 頁。</p> <p>⑤中山大将、司开玲、巫靚、笠原真梨子、李德营、福谷彬「从日本中国农村社会经济结构研究观点来探索现代中国农村研究方式：根据南京及苏州农村调查的试论」平井芽阿里・中山大将編『京都エラスムス計画 2010 年度中国社会研究短期集中プログラム成果報告—南京市・江蘇省南部の都市と農村—』京都大学大学院経済学研究科「京都エラスムス計画」事務局・京都大学人文科学研究所附属現代中国研究センター、2011 年 2 月 24 日、57-75 頁。</p> <p><報告></p> <p>⑥ <i>Agriculture and Rural Community in a Social and Familial Crises: The Case of Abandoned Rural Community and Invisible People in the Post-War Settlement in Shin-Nopporo, Japan,</i> Asia Rural Sociology Association (ARSA) 4th International Conference, Bicol University, Legazpi City, Philippines, Sep 10, 2010.</p> <p>⑦「樺太の知識人と A・P・チェーホフ『サハリン島』国際学術会議「A・P・チェーホフとサハリン—21 世紀の視点から」、ロシア連邦サハリン州立学芸図書館、2010 年 9 月 22 日。</p>	